

2020年 福岡県ライフセービング協会 パトロール統計

■パトロール概要

海水浴場	シーサイドももち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県LS協会
LSC	博多SLSC・九産大LSC・福岡大LSC	博多SLSC・九産大LSC	新宮LSC(休止)	宗像LSC	4LSC
期間	7/11~9/1	7/1~8/31	不開設	7/4~8/31	7/1~9/1
日数	52日	61日	0日	58日	延べ171日
総入込数	不明	不明	不明	5,960人	不明
ピーク時入込数	650人	880人	不明	555人	延べ2,085人
パトロール時間(日)	9.5時間	6.5時間	0時間	9時間	平均8.3時間
延べLS数	316人	92人	0人	166人	延べ574人
延べパトロール時間(×人)	3,002時間	598時間	0時間	1,494時間	延べ5,094時間

※ 延べライフセーバー数=海水浴場開設期間中に配置した人数の合計

※ 延べパトロール時間=1日のパトロール総時間×延べライフセーバー数

■レスキュー概要

海水浴場	シーサイドももち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県LS協会
レスキュー数	6人	0人	不開設	17人	23人
EC					0人
PA	6人			17人	23人

※ EC=Emergency Care (救助した時に意識が無い(反応がない・目を開けない))

※ PA=Preventive Action (救助した時に意識がある(反応がある・目を開ける))

■レスキュー詳細

海水浴場	シーサイドももち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県LS協会
PA	6人	0人	不開設	17人	23人
PA(男性)	6人			15人	21人
PA(女性)				2人	2人
PA(0~9歳)				4人	4人
PA(10歳代)	4人			8人	12人
PA(20歳代)	2人			3人	5人
PA(30歳代)				2人	2人
PA 自然要因(離岸流)				5人	5人
PA 自然要因(波に巻かれる)				2人	2人
PA 個人要因(泳力不足)	1人				1人
PA 行為(浮具有)				7人	7人
PA 行為(浮具無)	1人				1人
PA 行為(ボディボード)				2人	2人

■FA 詳細

海水浴場	シーサイドももち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県LS協会
FA	11人	8人	不開設	10人	29人
FA(擦過傷)				1人	1人
FA(切創)	3人			1人	4人
FA(熱中症)	2人				2人
FA(クラゲ)	3人	8人		7人	18人
FA(とげ)				1人	1人
FA(泥酔)	3人				3人

※ FA=First Aid (応急手当)

■対応件数

海水浴場	シーサイドももち海浜公園(福岡市早良区)	志賀島海水浴場(福岡市東区)	新宮海岸(糟屋郡新宮町)	北斗の水汲み海浜公園(宗像市)	福岡県LS協会
通報対応	1件	0件	不開設	1件	2件
海上保安庁					0件
消防(救助)	1件			1件	2件
警察					0件

■総論

この統計は、公益財団法人日本ライフセービング協会に加盟する福岡県ライフセービング協会に所属する福岡県内各ライフセービングクラブが夏季に海水浴場において活動したパトロールの統計です。

2020年はコロナ禍で海水浴場不開設や、開設海水浴場においても感染防止対策や例年とは異なる環境下での活動(シーサイドももち海浜公園と志賀島海水浴場では、子供または緊急もしくは重症を除くFAや泥酔者等への対応を行わなかったため、昨年と比較して件数が大幅に減少)となりました。2020年の夏季パトロール中における海水浴死亡事故はなく、4LSCが活動した3浜でのレスキューは23人でした。

今夏の当協会が把握している福岡県内での海水浴遊泳死亡事故は3件3名(7/5新宮、8/2弘、8/2深江)発生しています。

PAの23人のうち、男性が91.3%を占め、0~9歳が17.4%、0~19歳で69.6%、0~29歳では91.3%を占めており、PAの9割以上が男性で、若年層がとても多いことがわかります。今後は若年層の男性に対してのより一層の海水浴安全啓蒙や教育が望まれます。

2019年度から福岡県内のパトロール統計を開始して分析を進めるとともに、海水浴事故におけるライフセーバー間や各行政機関との迅速な情報共有も具現化しつつあります。

今後とも各行政機関や関係各位のご協力や福岡県内における連携強化により、福岡県内の溺水事故ゼロに向けて、更なる努力と情報共有を図っていきたくと考えています。



特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会

Mail : info@lifesaving.fukuoka.jp